

平成26年教育委員会 第8回定例会

- 日 時 平成26年8月20日(水) 18時
- 場 所 教育委員会庁舎3階 第1会議室
- 出席委員 高木委員長、末永委員、遠藤委員、笹谷委員、上林教育長
- 欠席委員 なし
- 出席職員 教育部長、教育部副参事、指導室長、指導室主幹、教育総務課長、施設管理課長、学校教育課長、生涯学習課長、生涯スポーツ課長、総合博物館副館長、教育総務課総務係長
- 傍聴人 1名
- 開 会 18時 閉 会 18時55分

議 案 第1号 平成27年度使用小樽市小学校用教科用図書の採択について

- ・ 委員長説明
平成27年度使用小樽市小学校用教科用図書の採択までの経過を説明する。
- ・ 教育長説明
各教科の採択理由を説明し、国語を「光村図書」、国語(書写)を「光村図書」、社会を「教育出版」、社会(地図)を「帝国書院」、算数を「教育出版」、理科を「東京書籍」、生活を「東京書籍」、音楽を「教育出版」、図画工作を「日本文教出版」、家庭を「開隆堂」、体育(保健)を「光文書院」、特別支援教育を「文部科学省著作教科書」としたい旨の説明を行う。
- ・ 委員意見・質問
図画工作の採択理由の中でわかりづらい表現があるとの指摘
- ・ 事務局答弁
表現を改める旨、答弁。
- ・ 各教科について全委員一致により決定した。

報 告 第1号 平成25年度不登校の状況について

- ・ 事務局説明
平成25年度の小樽市における不登校児童生徒数について、小学校は18名と昨年より12名増加、中学校は60名と昨年より8名増加している旨の報告を行う。
- ・ 委員意見・質問
 - ①全国と比べた北海道の不登校の状況についての質問
 - ②小樽市は昨年度と比べ増加傾向なのが気がかりであり、何らかの手立てをすべきとの意見
 - ③不登校の数を減らすというよりは、むしろ完全になくすよう努めてほしい旨の意見
- ・ 事務局答弁
 - ①全国と比べると少ない状況である旨、答弁
 - ②知徳体のバランスのとれた児童生徒を育てていくよう指導していく旨、答弁。社会環境の変化や不登校に対する保護者の許容も増加の一因と考えられるが、詳しい分析が必要である旨、補足

- ・全委員が了承した。

報 告 第 2 号 小樽商科大学との連携協定について

- ・事務局説明

小樽商科大学と教育委員会が、地域研究に傾注するため今後連携協定を締結する予定である旨、報告する。具体的には大学講義への学芸員等派遣や、関連講義受講生に対し総合博物館、文学館、美術館入館料が無料となる等である旨、説明する。

- ・全委員が了承した。

(事務局から議案を追加提案し、非公開で審議)

議 案 第 2 号 平成 2 6 年度小樽市一般会計補正予算に係る意見の申し出案

- ・事務局説明

平成 2 6 年度小樽市一般会計補正予算に係る意見の申し出案について説明を行い、全委員一致により決定した。

(非公開の審議を終了)